

日本農芸化学会 2017 年度大会

ランチョンセミナーのご案内

LS2-5 島津製作所の 最新質量分析ソリューションのご紹介

日時

2017年3月18日(土) 12:30 ~ 13:20

会場

C-25 会場 (京都女子大学 C-504 教室)

講演 1

**血中に移行した食事由来ペプチドの同定と定量
-プリカーサーキャンをつかったペプチドの特異的検出-**

演者

佐藤 健司 先生 (京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻 教授)

ESI-トリプル四重極型液体クロマトグラフ質量分析計は、低分子化合物の定量分析に汎用されている。一方、本装置はミリマスを得ることが困難であり構造解析には不向きであるとされている。しかし、MS/MSにより生じる特定のプロダクトイオンを生じるプリカーサーイオンを検出することが可能である。そのため誘導化試薬由来のプロダクトイオンを生成するプリカーサーイオンを検出することで誘導化試薬に反応する化合物のみを検出することが可能である。この手法を用い、ペプチドを複雑なマトリックスから検出し、さらにプロダクトイオンのパターンから構造を推定することが可能である。このアプローチの応用例を紹介する。

講演 2

- ① LC/MS/MS メソッドパッケージ D, L-アミノ酸を用いた
発酵食品中の D, L アミノ酸一斉分析例のご紹介
- ② LC/MS/MS メソッドパッケージ 細胞培養プロファイリングを用いた
培地成分の簡易定量法のご紹介

演者

渡邊 淳 (株式会社 島津製作所 分析計測事業部)

豊田 健一 (株式会社 島津製作所 分析計測事業部)

島津製作所では2010年トリプル四重極型質量分析計をリリースして以降、これまで多くの高速・高感度分析のツールを提供してきました。今回は、食品中の D, L アミノ酸分析、培地の成分分析に関連する 2 つのアプリケーションを紹介いたします。

司会：奥村 毅 (株式会社 島津製作所)

お問合せ

(株) 島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1 TEL: 075-823-1352